

甲奴中学校区は三次市小中一貫教育推進モデル地域の指定を受け2年目を迎えました。学力向上部会、研究部会、生徒指導部会、庶務部会の4部会でそれぞれ推進計画を立てて進めています。

学力向上部会では、「主体的に学ぶ力を高め、学力向上を推進する取組」、研究部会では「総合的な学習のカリキュラムの充実」と「道徳教育の推進」、生徒指導部会では「生徒指導の充実」に取り組んでいます。また、昨年から行っている小中合同合唱による「響く歌声」や、部活動交流やリトルティチャーによる「異年齢交流」そして、外国語教育の推進を柱として取り組んでいます。

## 3つのプロミス

学習規律について3校で共通したものを学力向上部会で検討し作成しました。2学期から3校で共通して『3つのプロミス』に取り組んでいます。



①先言後礼 ②返事は、はっきり！！③発表は最後まで言い切る



1学期には、学力向上部会では小中の授業交流、また甲奴中学校英語暗唱大会に小学校6年生が参加し、中学生の発表を聞いたり、ALTのサン先生による合同プログラムに参加しました。

2学期には生徒指導部会が担当する小学校6年生による中学校の部活動体験が9月28日(水)に予定されています。また、11月11日(金)には小中一貫教育研究会が甲奴中学校(授業公開・全体会)・小童小学校(授業公開)を会場として行われます。今年は3校の児童生徒全員で「地球星歌」を合唱する予定です。

## 夏季合同研修会にて

8月8日(月)に甲奴コミュニティセンターにおいて、合同研修会を行い、グループ別研修において国語・算数数学・理科・英語の4つのグループに分かれ、学力調査問題を実際に自分たちで解きました。



「児童生徒がどこでつまづいているのか」「つまづきを克服するための効果的な指導方法は何か」について協議し、今後の授業に生かしていこうと、それぞれが取り組んでいます。

つまずきの分析	つまずきを克服するための効果的な指導方法
<p><b>複数の資料を関連する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の情報（文・グラフ・表）を読み取ったり比較したり関連させたりすることが難しい。</li> </ul>	<p><b>資料と文章を関連させ分析して書く。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフからわかることの読み取り（表題・縦軸・横軸の確認等）</li> <li>・書いた文章の良い例を肯定的評価をして紹介し、共有する。良い例を用いて書き方を指導する。</li> </ul>
<p><b>条件に合わせて答える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件を読み取ることができない。</li> <li>・条件に合わせて記述することができない。（書き出し・段落等）</li> </ul>	<p><b>授業の中でも条件を設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件に沿って書く練習をする。</li> <li>・論文・レポート形式で書かせる。</li> <li>・授業の課題を設定する。</li> <li>・書き方を教える。</li> </ul>
<p><b>主語・述語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語述語についての理解が不十分。</li> </ul>	<p><b>主語述語を首尾から意識</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表する時、主語述語をしっかりと発音させる。</li> <li>・日常的に主語をつけて発言をしっかりと切り切らせる。</li> </ul>
<p><b>問題を読むということ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しく問題を読み取ることができない。</li> <li>・物語文、説明文の読み取りができない。</li> <li>・読むスピードが遅い。</li> </ul>	<p><b>読むということに慣れる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読解ドリルで長文に慣れる。</li> <li>・読書指導（長文をしっかりと読み込ませる。）</li> <li>・線を引く、文量に慣れる。</li> </ul>

学習内容を使う！（習ったことを生かす）

つまずきの分析	つまずきを克服するための効果的な指導方法
<p><b>問われていることが分かっていない。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章が長く、何を問われているのが分からない。</li> <li>・問題を読んでいない。→読み取れていない。</li> <li>・何が問われているか、イメージできない。</li> <li>・感覚で選んでいる。（角度を合わせた問題）</li> <li>・経験がない。</li> </ul>	<p><b>読む・書く・話す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から<u>読書</u>をして、長文を読みこなす力をつける。</li> <li>・時には<u>具体物</u>で関係をとらえさせる。</li> <li>・自分の考えを書きまらせる。</li> <li>・算数・数学用語をきちんと押さえる。</li> <li>・具体的な数字を当てはめて考えることもよい。</li> <li>・友達のを考えを聞いたら、「<u>〇〇が分かりました。</u>」と自分の言葉で言い直す。</li> </ul>
<p><b>関連つけて答えることができない。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り出した条件を関連つけて答えられない。</li> <li>・2つの量の関係の理解が難しい。</li> </ul>	<p><b>系統的な指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・系統的な押さえ</li> <li>・低学年から、問題文には、<u>分かっていない数・問われていること</u>に線を引いたり、<u>図形等には赤い線</u>を入れたりする。</li> </ul>
<p><b>小学校での押さえが足りない。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数倍・分数倍（5年）…1より小さい倍数、小学校での押さえが弱かった。</li> <li>（小学校から出された意見）</li> </ul>	

